

第4回定例会一般質問項目

平成28年12月5日(月)

午前9:00~

質問順番	議員名	項目
1	堀部 好秀 (一問一答)	<p>1 子供の教育について</p> <p>(1) この地域の薬物に対する教育状況は</p> <p>(2) 今後、席田郡について子供たちへの学習指導を考えているか</p> <p>(3) 小学校において、体育の授業の充実のための取り組んでいること、また今後考えていることはあるか</p> <p>2 能郷白山について</p> <p>(1) 開基1300年を記念して何か事業を考えているか</p> <p>(2) 観光客や登山者のために、駐車場やトイレの環境整備は考えられないか</p>
2	鍔本 規之 (一問一答)	<p>1 長屋地内配水管拡張改良工事における談合に関して</p> <p>(1) 市が知り得る談合の経緯又、処分の経緯についてお訊ねします。</p> <p>(2) 入札に参加されたのは、7社ですが処分は6社です。その理由をお訊ねします。</p> <p>(3) 談合による入札金額と談合によりやり直しの入札金額の差が、工事額約830万円の工事で280万円の差がありました。この差について、市はどのような感想をお持ちなのか。お尋ねします。</p> <p>(4) 市として談合を行った者に関して、処分のルールはどのようにになっていますか。又、6社同じ4ヶ月の処分である理由をお訊ねします</p> <p>(5) 今後について</p> <p>2 徳山団地西の糸貫川に架かる市道糸貫1109号線大構橋掛替工事についてお訊ねします</p> <p>(1) 計画よりも完成まで延長・延長で多くの時間がかかりました。その理由と経緯についてお訊ねします</p> <p>(2) 橋の設計変更ではなく、工事の変更についての経緯と理由についてお訊ねします。</p> <p>(3) 当初予算額よりも工事変更により多くのお金がかかりました。その増額分を市は認めました。その経緯と理由をお訊ねします。</p> <p>(4) 工事変更により、当時の計画より多くの残土が出たようです。請負業者堀部工務店に残土処理についてどのように説明されたのか。又、請負業者から残土処理についてどのような報告が出されていますか、お訊ねします。また、市はその残土がどのように処理されたか確認していますか。 ※根尾川や糸貫川から出た残土、砂利についてお訊ねします。</p> <p>(5) 今後について</p>

質問順番	議員名	項目
3	黒田 芳弘 (市政自民クラブ) (一問一答)	<p>1 小水力発電の推進</p> <p>(1) 豊富な水資源を有する本市にとって適地は多く、地域活性化への有効な事業と考えるが見解は</p> <p>(2) 国、県及び市の補助金活用の可能性は</p> <p>(3) 自治会や農業団体、組合等、多様な団体を事業主体とした推進は</p> <p>2 野菜高騰による学校給食への影響</p> <p>(1) 野菜の高騰が続いているが、本市の学校給食への影響は</p> <p>(2) 学校給食における地産地消への取り組みとその支障については</p> <p>(3) 今後食材の高騰や不足など緊急事態が想定されるが、本市の対応方針は</p> <p>3 投票率アップ等選挙への関心度向上について</p> <p>(1) 公選法改正により、18歳に選挙年齢が引き下げられ、その対応について全国的に取り上げられていたが、本市の対応は</p> <p>(2) 今年7月、18歳選挙権として初めてとなる参議院選挙が実施された。投票率の結果について見解は</p> <p>(3) 投票率向上に向けての課題は</p> <p>(4) 来年9月には新市となって4回目となる市議会議員選挙が実施される予定である。有権者が立候補者を一同に比較対照できる選挙公報の実施は</p> <p>4 国の第2次補正予算への関連と来年度予算編成</p> <p>(1) 国の第2次補正予算に対する本市の関連は</p> <p>(2) 来年度予算編成にあたっての方針や重点施策は</p>
4	船渡 洋子 (公明党) (一問一答)	<p>1 災害発生時における避難所運営について</p> <p>(1) 避難所運営マニュアルが整備されていますか。</p> <p>(2) 避難所関係職員以外の人でも、避難所を立ち上げることが出来る、わかりやすい手引きになっていますか。</p> <p>(3) 災害発生時の避難所運営の流れは。</p> <p>(4) 避難所運営マニュアルに基づく、避難所設営の訓練の実施は。</p> <p>(5) 「避難所支援班」はどのように組織され、災害時にはどのような動きとなりますか。</p> <p>2 被災者台帳「被災者支援システム」の導入・運用について</p> <p>本市においては、被災者台帳を導入されていると思いますが、災害時にきちんと稼働できる状況になっているかお尋ねします。</p> <p>3 思春期の子育て冊子について</p> <p>京都市では、全市立小学校の小学6年生の保護者に配布された冊子「思春期の子どもの心とおやのかかわり」が好評を博しています。</p> <p>本市においても活用されてはどうでしょうか。</p> <p>4 結婚新生活支援事業について</p> <p>本市においても、ハッピーウエディング事業として、国の結婚新生活補助金を活用した「婚活や新婚所持への支援」を行えないでしょうか。</p>

質問 順番	議員名	項目
5	高橋 勝美 (一問一答)	<p>1 本巣市の出生率と婚活サポートについて (1) 今後、本市の出生率の上昇、対策についての考えは (2) これからの婚活イベントについての考えは</p> <p>2 大規模地震時の電気火災の発生抑制のため、住宅の感震ブレーカー設置及び市内中学校に防災部の創設について (1) 住宅への耐震ブレーカーの設置についての考えは (2) 市内中学校に防災部の創設についての考えは</p>

第4回定例会一般質問項目

平成28年12月6日（火）

午前9：00～

質問順番	議員名	項目
1	安藤 重夫 (一問一答)	<p>1 ジャンボタニシ駆除事業について 今年の異常発生は添付の写真の様に酷いものであります。来年の発生を市南部の水田農家は戦々恐々としていますが対策を伺います。</p> <p>2 市道改良工事に伴う埋め戻しについて 構造物設置後の埋め戻し工には、良質な砂礫か山土を用いるべきであり、振動ローラー又は振動コンパクターにて40cm～50cmの転圧をかけるべきで、発生土の転用はタフロック処理すべきであり、粘土による埋め戻しは不等沈下の原因になり、不陸を起こすと考えるが。</p> <p>3 市道上下水埋設工事について 上下水道管理設後の埋め戻し工には、良質な砂礫か山土を用いるべきで、振動ローラー又は振動コンパクターにて40cm～50cmの転圧をかけるべきで、発生土の転用はタフロック処理すべきであると考えますが。</p>
2	若原 敏郎 (市政自民クラブ) (一問一答)	<p>1 市管理職への女性職員の登用は。 (1) 本市での女性管理職の登用と、近隣市の現状は (2) 職場によっては女性の方が向いていると考えるが (3) 今後の女性管理職への育成等の方針は</p> <p>2 市南部の商業施設の安全対策 (1) 現状の把握は (2) 市としてできる安全対策は (3) 市長の思いは</p> <p>3 高齢者の運転軽減社会を (1) 高齢者ドライバーの割合は (2) 高齢者の事故防止対策は</p>
3	大西 徳三郎 (市政自民クラブ) (一問一答)	<p>1 人口減少を緩和する方策について (1) 樽見鉄道の高架事業と岐阜関ヶ原線の完全四車線化の進捗状況と完成年度は (2) 新たな工業団地の見通しは (3) 真桑・弾正幼稚園の新園舎の完成年度は (4) 本巣消防西分署の東の市道を国道303号線に繋ぎ幹線市道にする計画の進捗状況は (5) 都市ガスの埋設工事が進んでいるが、多くの受益者になるよう、施工会社に指導・協力依頼をすることについて</p> <p>2 新年度の予算編成の方針について 市民の市政に対するニーズは多種多様であり、自治会の要望事項も毎年多く提出されていますが、3年・5年・10年先の本市が住み良いまち・安全・安心なまちになるよう、予算を編成すべきだと思いますが、お考えをお聞きします。</p>

質問 順番	議員名	項目
4	鵜飼 静雄 (日本共産党) (一問一答)	<p>1 国保の県単位化について (1) 県単位化に向けての現状は (2) 市民への影響は (3) 市への影響は</p> <p>2 耐震改修促進について (1) 本巣市には、平成27年を目途とする耐震改修促進計画がありましたが ① 計画目標に対する実績は ② 今後の計画は (2) 旧耐震基準の建築物だけでなく、新基準でも平成12年以前の建築物についての対応が指摘されています。市民への啓発、相談体制、耐震診断など、新たな対応を考える必要があると思います。見解を伺います。</p> <p>3 就学援助制度の改善について 文科省は「必要とする時期に速やかに支給することができるよう十分配慮すること」との通知を出しています。 教育委員会としても、いろいろ検討はされてきているとは思いますが、この通知の趣旨にそって、特に入学時の対応の改善についての考えを伺います。</p> <p>4 市民文化ホールにおける事業の進め方について 文化ホールにおける各種事業は、運営協議会において年間利用計画を立案・実施することになっていると思いますが、今年度、協議会委員から「知らないうちに進められている事業がある」との声が寄せられました。 そうした事実があったのかどうか。また、あったとすれば、その経過、背景等について伺います。</p>